

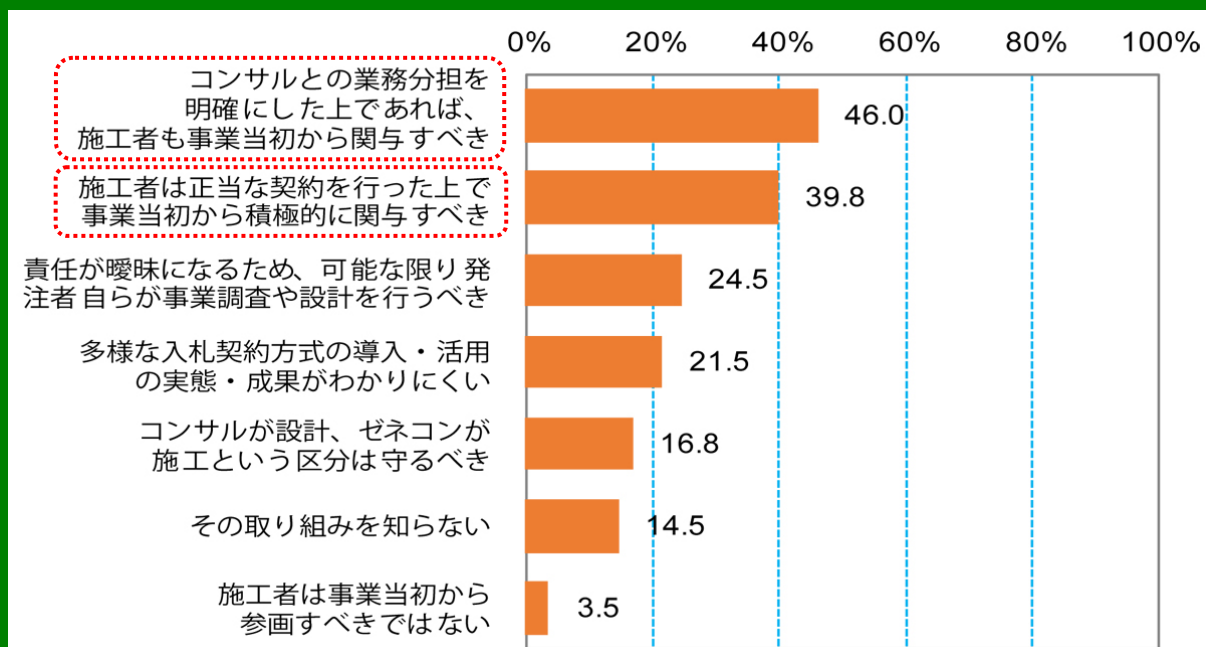
R48^④ ROADMAP



[アールよんぱち] 2015.7.16 No.23

多様な入札契約方式に関するアンケート

アンケート結果からは、コンサルタントと施工者の業務分担を明確にし、正当な契約を行った上であれば「施工者が事業当初から関与すべき」との声が多く上がっています。日建協では、作業所における4週8休の実現にむけ、施工者のノウハウを活用し、生産プロセスの手戻りを減らす「下流工程への負荷を軽減する建設生産システムの普及促進」を関係者に対し求めています。



出典：2014 年度 土木作業所アンケート結果「多様な入札契約方式」

提言活動

国土交通省地方整備局提言

～作業所における4週8休の実現にむけて～

政策提言

「適正工期」について考える④

～元請の問題改善にむけた取り組み～

作業所訪問

めざせ 4週8休！

～週休2日・工程調整綿密対応試行工事～

次号予告

■作業所訪問

めざせ 4週8休！

■政策提言

「適正工期」について考える⑤

本誌について

「Roadmap48」とは
4週8休（週休2日制）の実現を中心テーマとした広報誌です。日建協の時短推進活動や政策提言、そして組合員のみなさんには是非とも知ってもらいたい建設産業に関わるトピックスなど、おり交ぜながら伝えていきます。

問い合わせ

日本建設産業職員労働組合協議会
政策企画局 産業政策グループ
<http://nikkenkyo.jp>

提言活動

国土交通省地方整備局提言 ～作業所における4週8休の実現にむけて～

日建協では、作業所の労働環境改善をめざし、受発注に絡む関係者に対して提言活動を行っています。5月～6月にかけて、全国の地方整備局に対し「作業所における4週8休の実現にむけて～誰もが働きたいと思える建設産業を目指して～」と題し、提言を実施してきました。詳しくは、日建協ホームページをご覧ください。

国土交通省関東地方整備局との意見交換会の様子



政策提言

「適正工期」について考える④

～元請の問題改善にむけた取り組み～

今号では、元請の問題改善にむけた取り組みについてご紹介します。

元請の問題としては「技術系職員が不足しており、施工計画段階を含め作業所運営が最適化できていない」など人員不足の問題があげられます。

日建協では、作業所における人員不足の克服にむけては、「下流工程への負荷を軽減させることができる建設生産システムの普及促進」すなわちフロントローディング型のプロジェクト運営がひとつの解決策だと考えています。

フロントローディング型のプロジェクト運営の場合、設計段階から施工者の技術力を活用することができるため、手戻りが減り、品質の確保や生産性向上に大きく寄与できます。コンクリート部材のPCa化はその一例で、作業所における省人化に加え、天候不順による遅延調整や労務確保のリスクが減り、工程管理の確実性が増えます。

また契約段階においても、施工者が早期に関与できることで、労務や資機材の調達状況を鑑み、契約工期に反映させることができます。

技術者の人員不足については、会社側に「プラス1の人員配置」を求めていくことも重要となります。

日建協では、作業所における4週8休の実現にむけ、受発注者を含む関係者へ理解醸成をはかりながら政策提言を進めていきます。

作業所訪問

めざせ 4週8休！

～週休2日・工程調整綿密対応試行工事～

今回は、国土交通省中部地方整備局岐阜国道事務所発注の東海環状大垣西1Cランプ橋床版工事を紹介します。将来の担い手確保にむけ、受発注者が協力し、女性や若手技術者の入職を支援する取り組みとして、週休2日の確実な取得をめざすモデル工事です。昨年10月の着工以来、5月末時点（工事進捗率 95.5%）で土日祝日の取得率（平日含む）は106%で推移しています。

①発注者の取り組み

- ・ASPの活用により書類削減、工程調整を実施
- ・元請および協力会社の担当者へのヒアリング調査

②元請企業の取り組み

- ・職員の配置人数を通常より1名増員、交代で休日取得
- ・週休2日が実施可能な協力会社の選定

③残されている課題

- ・技能労働者の処遇改善

本事業の特性としては、RC床版工事ということで不確定要素が少なく、近隣の影響も限定的で、休日が取得しやすいプロジェクトとも云えます。中部地方整備局では、今後他の工種の事業でも試行工事を定め、課題を検証していく予定です。



国土交通省中部地方整備局 東海環状大垣西1Cランプ橋床版工事